

## 有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	B - 1	B - 2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型式	浸漬式 ( 社製 CM - 5 )	全自動バレル回転式 ( 社製 ZB - A 1 )
構造	鉄製、内部を塩化ビニールライニング(構造図は資料のとおり)	鉄製、内部を塩化ビニールライニング(構造図は資料のとおり)
主要寸法	槽寸法 酸浸槽1m×1m×1.5m×1槽	装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料のとおり)
能力	ねじ 3,000個/日	ねじ 5,000個/日
配置	めっき工場棟1階 (配置は、資料のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成24年 9月10日	平成24年 9月10日
工事完成予定年月日	平成24年10月 1日	平成24年10月 1日
使用開始予定年月日	平成24年10月 1日	平成24年10月 1日
その他参考となるべき事項	床面は厚さ100mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止	施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。 防液堤等については、その容量を記入すること。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

## 有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	B - 1	B - 2			
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設			
設置場所	めっき工場棟 1階 (配置は、資料のとおり)	めっき工場棟 1階 (配置は、資料のとおり)			
操業の系統	処理を行う 原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設を他の施設と区分する。	めっきを行う			
使用時間間隔	週に 2 ~ 3 日程度使用し、使用時間帯は不規則	10時 ~ 16時			
1日当たりの使用時間	4時間	6時間			
使用の季節的変動	なし	6月中旬 ~ 7月中旬 100%稼働 12月中旬 ~ 1月中旬 30%稼働 その他 70%稼働			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	<前処理行程>  <表面処理> フッ酸 2kg/日	<前処理行程>  <めっき行程> カドミウム 0.1kg/日			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	2.5~4.0	2.0~4.0	3.0~5.0	2.5~5.0
	BOD(mg/L)	15	20	10	20
	SS(mg/L)	40	50	35	40
	ふっ素(mg/L)	20	25	-	-
	カドミウム(mg/L)	-	-	5	8
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	通常	最大	通常	最大
	20	30	25	30	
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

## 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		F - 1 (工場排水処理施設)				F - 2 (生活排水処理施設)			
処理施設の設置場所		別添図 のとおり				別添図 のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		平成24年 9月 10日				平成24年 9月 10日			
工事完成予定年月日		平成24年 10月 1日				平成24年 10月 1日			
使用開始予定年月日		平成24年 10月 1日				平成24年 10月 1日			
種類及び型式		社製(型番: - )				合併処理浄化槽(50人槽)			
構造		鋼鉄製(一部コンクリート製)				コンクリート製			
主要寸法		別添図 のとおり				別添図 のとおり			
能力		70 m <sup>3</sup> /日				15 m <sup>3</sup> /日			
処理の方式		凝集沈殿・中和処理方式				接触ばっ気			
処理の系統		別添図 のとおり				別添図 のとおり			
集水及び導水の方法		別添図 のとおり				別添図 のとおり			
使用時間間隔		8時~20時				24時間連続			
1日当たりの使用時間		12時間				24時間			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		水酸化ナトリウム 6kg/日 PAC 10kg/日				次亜塩素酸カルシウム 0.3kg/日			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	2.5~5.0	6.0~8.0	2.0~5.0	6.0~8.0	5.0~9.0	6.0~8.0	5.0~9.0	6.0~8.0
	BOD(mg/L)	15	10	20	15	200	20	200	20
	SS(mg/L)	40	10	50	15	100	20	100	20
	ふっ素(mg/L)	20	不検出	25	不検出	-	-	-	-
	かみん(mg/L)	5	不検出	8	不検出	-	-	-	-
大腸菌群数(個/cm <sup>3</sup> )	-	-	-	-	10 <sup>6</sup>	不検出	10 <sup>7</sup>	不検出	
量(m <sup>3</sup> /日)		45	45	60	60	8	10	8	10
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥1.5t/月 業者に処分委託 (処分委託先: 産業株)				汚泥0.2t/月 業者に処分委託 (処分委託先: 清掃株)			
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置		<pre>                     graph TD                         B1[65 表面処理施設 (B-1)] --&gt; F1[排水処理施設 (F-1)]                         B2[66 電気めっき施設 (B-2)] --&gt; F1                         F1 --&gt; I[浸透池]                     </pre>							
浸透施設の数		2 施設							
浸透水	工場又は事業場における施設番号	B - 1		B - 2					
	量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	20	30	25	30					
その他参考となるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

